

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2018 スマートエンジニアリング TOKYO 2018 特別講演会のご紹介



**小さな投資で投資回収3年！
全国の先進的な製造業が取り組む
省エネ & 自動化 & 省人化事例
特選30！**

船井総合研究所

環境・エネルギーグループ
省エネチーム チームリーダー
シニア経営コンサルタント

藤堂 大吉 氏

小さな投資で

省エネ・自動化・省人化

— メンテナンス・レジリエンス
TOKYO2018 の特別講演会でご講演
をいただきます。どのような内容になる
のでしょうか？

テーマは「小さな投資でできる省エネ・
自動化・省人化」です。最近になってこ
の分野に対する投資欲が高まってきて、
多くの企業さんが注目しています。私の

印象では、ここ1～2年が特に顕著です。
おそらく製造業が活況になってきてい
ることと国も積極的に推進していること
が関係していると思います。

— 「小さな投資」とはどういうこと
でしょうか？

もちろん、今ある設備を丸ごと全て最
新の設備に買い換えた方が省エネ性能は
向上します。しかし、そこまで費用をか
けることができない場合が多いのではな

いでしょうか。船井総研としては、今あ
る設備をなるべく使い続けることがまず
は第一だと考えています。5～10年、
使っている設備を延命化しながら、省エ
ネも実現する。メンテナンスのコストを
削減していきながら、省エネ化させる。

このようにそれほど費用をかけなくても
もできることがあります。設備を更新す
れば、エネルギーが低減するのは当たり
前のことですが、多額のコストをかけず
に少額で省エネ化する方法もあります。

講演会概要

**「小さな投資で投資回収3年！
全国の先進的な製造業が取り組む
省エネ & 自動化 & 省人化事例特選30！」**

会場：東京ビッグサイト 東1ホール内 特設ステージ

日時：2018年7月19日（木） 13:15～14:00

定員：350名 参加料：無料

参加方法：公式ホームページからの事前登録制

*空席及び立ち見スペースがある場合は当日聴講可能

▼特別講演会の詳細はこちら

<https://www.jma.or.jp/mente/visit/special.html>

▼ご予約はこちら（展示会に来場登録後、聴講予約ができます）

<https://jmacv.herokuapp.com/mente2018/visitors/confirmmail>

講演会ではその方法について具体的な事例でご紹介をさせていただく予定です。小コストなので、投資の回収もしやすく、3年間という短期間で投資回収できるノウハウをご提示いたします。

「スマートファクトリー」という言葉がありますが、設備投資できる資金が豊富にあれば、いくらでも設備を替えることはできます。設備をそっくり丸ごと替えてしまうこともできますし、太陽光発電や蓄電池も導入することもできます。

しかし、それは全ての企業様ができることではありません。現実的には大手企業様でしかできないでしょう。

私たちがご提案しているのは、そうではなくて、全ての企業様で導入できることです。「小さな投資でできる省エネ」、それが講演会のテーマです。

—企業さんの取り組みはどこまで進んでいるのでしょうか？

地域による情報格差が激しく、取り組み具合には差があります。私はお客様の現場に入り込んで、一緒になって省エネを進めるようにしていますので、北海道から九州まで全国全てのお客様とお付き合いさせていただいていますが、地域差が感じています。

東京、名古屋、大阪など都市部には情報があふれていますが、地方になると残念ながら情報が届いていません。

都心部ではLEDの導入が進み、既に一般的になっていますが、地方ではこれからLEDに取り組んでいく企業さんがまだまだたくさんいらっしゃいます。

—どのようなことに企業さんは苦労しているのでしょうか？

「何をすればいいかわからない」と具体的なやり方に困っていることが多いですね。

確かに省エネに関してはいろんな情報が氾濫しています。ネットで調べれば、たくさんの情報を得ることができますし、展示会もいろんなところで開催されています。

しかし、情報を見つけることは簡単な

のですが、その後、具体的な取り組みに繋げることできないケースが見受けられます。

なぜ、うまくいかないのか？

—うまくいかない原因はどこにあるのでしょうか？

社内の体制作りにあることが多いですね。そこが原因になっている場合がほとんどです。

うまくいっている場合の多くは、決定権を持つ方、大手企業さんであれば製造部の部長さんクラスになりますが、そういった方が省エネに対する専任の部署を立ち上げているケースです。

経営とも関係することだと思いますが、成功の成否はトップの判断にかかっています。誰がその体制のトップになるかで成功するかどうかが決まるんです。

理想的には決定権を持った方が体制を作ることです。そして、現場の方をいかに巻き込むかも大事です。

よくあるケースが、設備管理の担当者だけで推進する場合です。これはうまくいきません。現場との相違があったりして、意見の食い違いが起り、進まない。いかにして現場の方を引っ張っていくか。そこがポイントになるかと思います。

—プラントメンテナンスショー自体の印象はいかがでしょう？

プラントメンテナンスショーはとても良い展示会だと思います。工場向けに特化しているからです。対象をエネルギーを使っている製造業に絞って、設備担当様のことを考えていることが感じられます。来場者と出展者のニーズが合致しているとも言えるでしょう。残念ながら、来場者と出展者のニーズが合致していない展示会もあるので。

これからプラントメンテナンスショーには、さらに省人化やIoTのソリューションを提供する出展者が増えていくと思います。製造企業さんはまだ省人化

やIoTの具体的なイメージを持っていません。「どうやって省人化すればいいのか？」「どのようにIoTを取り入れていけばいいのか？」と困っている企業さんはまだまだ多い。

そこを噛み砕いて、わかりやすく提示してくれる出展者がさらに増えると、ますます良い展示会になっていくと思います。

—参加を検討されている方へのメッセージをお願いします。

省エネを推進している責任者の方にぜひご参加いただければと思っています。責任者の方にご参加いただけてこそ、意味がある内容になっております。

当日は実際にどうやって省エネを実現するか、具体的な事例でお話させていただく予定です。

講演を聞いていただければ、すぐに明日からでも使えるような方法をお話しします。ご期待ください。

<本インタビューの内容に関するお問合せ>
一般社団法人日本能率協会
産業振興センター 第3事業系
TEL 03-3434-1988
E-mail mente@jma.or.jp